



## 《最上町生涯学習スローガン》 町民ひとり 1学習 1スポーツ 1地域活動

### 令和5年度最上町青少年育成町民会議 《社会及び自分を良くするための標語コンクール》

今年度も「社会及び自分を良くするための標語コンクール」に町内の小・中学生、高校生の皆さんよりご応募いただきありがとうございます。入賞された全ての標語をご紹介します。



#### 1年生の部

最優秀賞	大堀小	阿部かな	ありがとう	いえたらいいね	すなおなきもち
優秀賞	向町小	佐藤 結真	おもいやり	えがおいっぱい	もがみまち
優秀賞	向町小	佐々木夢月	ありがとう	かぞくにいえたら	うれしいね
佳作	大堀小	齊藤 征那	ありがとう	みんなえがおになれるころのハイタッチ	
佳作	向町小	阿部 新	ありがとう	ぼかぼかことば	いきもち
入選	大堀小	二戸 瑛太	だいじょうぶ	こまったときは	たすけあおう
入選	大堀小	石山 葉菜	たいせつにするよ	おともだち	
入選	向町小	秋葉 瑛都	ありがとう	ことばでつたえる	だいじだよ
入選	向町小	柴崎 蒼	いつまでも	なかよくしよう	きみとぼく

#### 2年生の部

最優秀賞	大堀小	寺崎 想世	たすけあい	えがおがふえる	やさしい町に
優秀賞	大堀小	中嶋 瑞希	ありがとうと	ごめんねがいえたら	みんななかよし
優秀賞	向町小	野口実千花	しんせつが	あふれるクラス	たからもの
佳作	向町小	庄司 彩芭	あいさつとえがおがあふれる町	ぼかぼか	
佳作	向町小	富澤こころ	にっこりとあいさつします	大きな声で	
入選	向町小	岡野朔太郎	SDGs	ちきゅうにやさしく	リサイクル
入選	向町小	伊藤 菜那	朝おきて「おはよう」	あいさつ	元気なしるし
入選	向町小	横山 小雪	あった人には	元気いっぱい	あいさつを

#### 3年生の部

最優秀賞	大堀小	阿部しずく	笑いあう	未来が見える	もがみ町
優秀賞	大堀小	大場 樹	あしたやろう	やっぱりコツコツ今日やろう	
優秀賞	大堀小	星川 瑠斗	あいさつは	心のつながる	あいことば
佳作	大堀小	齊藤 永真	たすけあい	町にあふれる	「ありがとう」
佳作	大堀小	齊藤 来光	ごめんねよりも	ありがとうでいっぱい	友だちでいよう
佳作	向町小	大場 実優	おばあちゃん	おいしいおやつ	ありがとう
入選	大堀小	渡辺 康介	いじめはね	してもされても	かなしいよ
入選	向町小	高橋 颯介	その言葉	いっちゃんまえに考えよう	
入選	向町小	結城 花珈	みんなのえがおは	なかよしのサイン	

#### 4年生の部

最優秀賞	大堀小	笠原 寿愛	いじわるを	しないさせない	やらせない
優秀賞	大堀小	森下 瑛斗	仲間だよ	声をかけ合い	大きな輪
優秀賞	向町小	柴崎 愛依	SNS	ぼかぼか言葉で	コミュニケーション
佳作	大堀小	高橋 瑛音	ありがとう	元気をチャージする言葉	
佳作	向町小	菅 瑞貴	SNS	悪口かいたら	いじめだよ
入選	大堀小	早坂 玲衣	あの子いや!あの子いや!	そう言うきみはもっといや!	
入選	向町小	小林 由芽	やさしさで	つなげたいなあ	えがおのわ
入選	向町小	沼澤 実穂	悪口は	人をきずつける	刃物だよ

#### 5年生の部

最優秀賞	向町小	菅 幸祿	あいさつで	ひろがる笑顔と	明るい社会
優秀賞	向町小	藤井 芽音	伝えよう	日頃の感謝	ありがとう
佳作	向町小	有路真桜人	あいさつで	笑顔あふれる	町づくり
佳作	向町小	笠原 来悟	あいさつで	人と人とを	つなげるよ
入選	向町小	阿部 鉄平	ゴミ拾い	町も明るく	心も明るく
入選	向町小	阿部 楓士	人の心	人の言葉で	こわされる
入選	向町小	結城 莉緒	あたりまえ	みんなのために	バリアフリー

#### 6年生の部

最優秀賞	大堀小	中嶋 尊帆	「消せないよ」	一気に拡散	SNS
優秀賞	向町小	柴崎倅四朗	思いやり	持てばよくなる	言葉使い
佳作	大堀小	早坂 寧音	笑おうよ	にっこり笑顔が	パワーに変わる
佳作	向町小	柴崎 新大	悪口は	言葉の弾丸	打っちゃダメ
入選	大堀小	赤川 大斗	やめようね	誹謗中傷	悲しいな
入選	大堀小	伊藤 桃愛	いじめゼロ	みんなが笑顔	最上町
入選	向町小	野口 心春	いじめとは	葉じゃ消えない	深い傷



#### 最上中学校 1年生の部

最優秀賞	二戸愛美里	ごめんねは	心の針を	取る言葉
優秀賞	後藤 由愛	隠さずに	相談しよう	悩みの根
優秀賞	杉沼 美来	人のこと	差別せずに	認め合おう
佳作	大沼 叶夢	ダメだよと	止めたあなたは	スーパーマン
佳作	金田 歩恵	おはようと	一言かわし	雰囲気変化
入選	菅 里来人	いじめゼロ	楽しい未来	共につくろう
入選	松井結衣佳	「ありがとう」	その一言が	笑顔の輪

#### 2年生の部

最優秀賞	黒坂 楓	たすけあい	優しい言葉は	涙の受け皿
優秀賞	佐藤 純矢	出来ている?	心のハンドル	にぎること
佳作	柴崎 愛斗	大丈夫?	それで開ける	心の扉
佳作	柴崎つぐみ	「助けて」と	言える環境	つくれてる?
入選	五十嵐文人	止めようよ	地球を	フライパンにのせるのは
入選	大場 玲煌	やめようよ	言えない環境	変えようよ
入選	渡邊 玲	「私も嫌い」	そのノリなんか	おかしくない?

#### 3年生の部

最優秀賞	菅 日葵	変じゃない	違いは個性	十人十色
優秀賞	菅 瞬介	よく切れる	はさみじゃなくて	その言葉
優秀賞	佐藤 汐音	SNS	いじめが起きたら	SOS
佳作	笠原匡志朗	大丈夫	君は絶対	一人じゃない
佳作	大場 桜	伝えよう	想いを紡ぐ	「ありがとう」
入選	菊池 翔天	やさしいの	たねをまいたら	笑顔さく
入選	野口 大晴	SNS	余計な一言	一人減る

#### 高校生の部

最優秀賞	1年	渡邊 翼	ありがとう	その一言だけで	温かい
優秀賞	1年	片山 萌佳	ありがとう	連鎖していく	そのことば
佳作	1年	赤川 花菜	日頃の感謝	口に出すことが	大事だね
入選	1年	柴崎 凜香	ありがとう	そのひとことを	言ってみて
入選	1年	三浦 明莉	助け合い	みんなとひとつ	明るい町

令和5年度

## 最上地区ヤングボランティア交流会

### & YYボランティアフェスティバル開催!!

令和6年2月3日(土)に、令和5年度最上地区ヤングボランティア交流会&YYボランティアフェスティバルが開催されました。

今年度のテーマは「コロナからのリスタート」～元気で楽しい思い出を蘇らせよう～を掲げ4年ぶりに制限なしの交流会が「ゆめりあ」を会場に行われました。

午前は交流①、参加した各サークルに加え中学生を交え①ワードウルフ、②ピンポン玉リレー、③風船バレーの3つのゲームが行われ大変盛り上がりしました。

午後からは交流②、各サークルがそれぞれにブースを展開し、最上町高校生ボランティアサークルでは「タイルアート」を行いました。紙コースターに思い思いにタイルを張って自分だけのアート作品を作ってもらいました。

参加者は約100人。コロナ禍前の賑わいが少し見られました。

当日の一般参加者



## ぶらぼー!! スポーツ!!



◎今年度は、例年にならぬほどの雪不足のため殆どのスキー大会が中止となりました。国スポ予選会も大蔵村湯の台スキー場に会場を移し何とか行われました。

2月21日(水)～24日(土)は第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会アルペン競技大会が開催されます。期間中は一般のお客様は、ご利用できませんのでご了承ください。

### 出場選手紹介

成年男子B 結城 智裕(最上町教育委員会)

成年男子C 伊勢 隼人(最上町役場)

成年女子B 赤松かおり(最上町出身)

みなさん厳しい予選を勝ち抜いてきました。

町民の皆さんの応援よろしく  
お願いします。



～新しい本が続々入荷中です～

## 図書室新刊情報



《第170回直木賞》

\*「ともぐい」河崎秋子 著(新潮社)

\*「八月の御所グラウンド」万城目学 著(文藝春秋)

《第45回野間文芸新人賞・第51回泉鏡花文学賞》

\*「あなたの燃える左手で」朝比奈秋 著(河出書房新社)

《第15回角川春樹小説賞》

\*「奥州狼狩奉行始末」東圭一 著(角川春樹事務所)

\*「ファラオの密室」白川尚史 著(宝島社)

\*「ツミデミック」一穂ミチ 著(光文社)

\*「きこえる」道尾秀介 著(講談社)

\*「戦国武将伝 東・西日本編」今村翔吾 著(PHP研究所)

\*「人間標本」湊かなえ 著(KADOKAWA)

\*「予幻」大沢在昌 著(徳間書店)

\*「変な家2～11の間取り図～」雨穴 著(飛鳥新社)

\*「墓じまいラプソディ」垣谷美雨 著(朝日新聞出版)

\*「まいまいつぶる」村木嵐 著(幻冬舎)

\*「なれのはて」加藤シゲアキ 著(講談社)

\*「ブラック・ショーマンと覚醒する女たち」

東野圭吾 著(光文社)

\*「今日、誰のために生きる？」

ひすいこたろう 著(廣済堂出版)

\*「なるようになる。僕はこんなふう生きてきた」

養老孟司 著(中央公論新社)

『風立つ』 袖月 裕子 著〔山形県在住〕  
(中央公論新社)

—— 俺は親父のことを、何も

わかっていないのかもしれない。——

問題を起こし家裁に送られてきた少年を一定期間預かる制度——補導委託の引受を突然申し出た父・孝雄。南部鉄器の職人としては一目置いているが、仕事一筋で良い親とは言えなかった父の思いもよらない行動に戸惑う悟。納得いかぬまま迎え入れた少年と工房で共に働き、同じ屋根の下で暮らすうちに悟の心にも少しずつ変化が訪れて……。

家族だからこそ、届かない想いと語られない過去がある。

岩手・盛岡を舞台に、揺れ動く心の機微を掬いとる、落涙の家族小説。

『孤狼の血』『盤上の向日葵』の著者が描く、会心の新たな代表作!

